

SONY

BRAVIA

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
〈ブラビア〉XR1シリーズカタログ

BRAVIA

〈ブラビア〉史上、最高*の美しさがここにある。

XR1

*LED部分制御システム、RGB LED〈トリルミナス〉、モーションフロープロ、ブラビアエンジン2プロを搭載

○本カタログ掲載の価格には、配送・設置調整費・アンテナ・工事費および使用済み商品の引き取り費などは含まれていません



黒の深さから、感動の深さが生まれる。

何万光年も離れた星の瞬きを。黄昏から夜へと変化する美しい空の表情を、そのまま再現したい。

〈ブラビア〉XR1シリーズは、映像表現の要となる「黒」の深さを追求し、100万:1以上*という圧倒的なコントラストを実現。

より深淵な黒の再現により、眩い光の輝きや繊細な色のニュアンス、引き込まれるような立体感を描きだします。

いままで見えなかった色彩を、質感を、そして空気感までもリアルに伝える映像美。

深い黒が生みだす、深い感動を、ぜひ、あなたもご体験ください。

BRAVIA XR1 55V型/46V型

闇の奥行き、光の微妙な表情を映し出すこと。

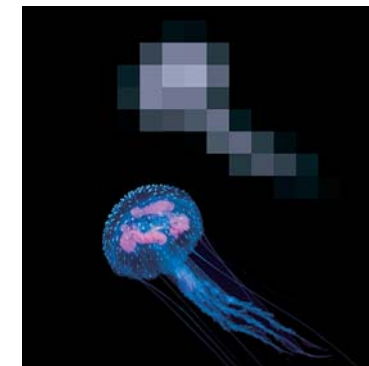
アイヌ語で「地の果て」を意味する北海道「知床」。オホーツク海からの流水が訪れる最南端の地は、2005年に世界自然遺産に登録されました。

海岸線から約3km 沖までが対象となり、日本初の「海洋を望む自然遺産」が誕生したのです。XR1シリーズは、闇の深さと光の存在感をリアリティー豊かに表現。

朝日を浴びて煌めく海面、果てしない空と海の奥行きなど、目にした感動をありのままに描きだします。



LED 部分制御システム



限りなく深い黒を再現するために。コントラスト比100万：1以上*を実現した、LED 部分制御システム

光の三原色(赤・緑・青)のLEDをバックライトに採用。さらに、LEDの発光を部分的に制御。映像の暗い部分では不要な発光を抑えることができ、100万：1以上という圧倒的なコントラスト比*を実現。映像本来の黒の深みや奥行き感、そして立体感をリアルに再現します。[左写真：LED 部分制御システムのイメージ] *ダイナミックコントラスト(全白信号での画面最大輝度と全黒信号での画面最小輝度比)デジタル液晶テレビとして



LED バックライトの動き



実際の映像

モーションフロープロ：従来の黒挿入技術では、コマの間に全画面が黒の映像(1フレーム)を挿入するため、ちらつきが出てしまいます。モーションフロープロでは、次の画面に切りかわる間に1フレームを分割してバックライトのオン／オフを制御。ちらつきを出すことなく残像感を低減し、動きの速い映像をくっきりと再現します。

TRILUMINOS
Dynamic LED

Motionflow PRO
120Hz

画面はハメコミ合成です

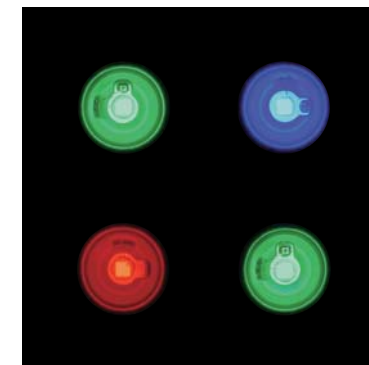


目で見た色、記憶に刻まれた色をそのまま描くこと。

季節の訪れを告げる、燃えるような色彩。荘厳な世界遺産のたたずまいを彩る京都の紅葉。落葉樹は種類によって、黄、橙、赤といったさまざまな色の表情を見せてくれます。それは、まさに自然が生みだす色の魔法。そんな美しい色のドラマをテレビで体験できたら。XR1シリーズの純度の高い、自然な色再現により、紅葉狩りの風情を心ゆくまで堪能できます。



RGB LED〈トリルミナス〉



自然の色を、自然のままに。これまで表現できなかった高純度な色を再現する RGB LED〈トリルミナス〉

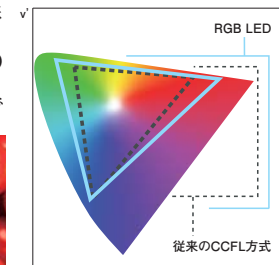
人の目に映る色は、たとえば赤ひとつでも、紅葉、^{ぼら}薔薇、トマト、ワイン、夕日など、さまざまな赤があります。この微妙な色彩の違いを再現するために、ソニーが独自に開発したバックライト技術〈トリルミナス〉を採用。赤・緑・青3色の独立したLEDを用いた構造により、三原色の純度が向上、さらに色再現領域を拡大しました。これにより、繊細な色のニュアンスまで表現するとともに、多くの色を本物に近い色でいきいきと再現します。

〔左写真：RGB LED〕赤、緑、青の独立したLEDの組み合わせにより、色純度が向上しました。さらに、緑のLEDチップを2つ使用し、より鮮明な映像を実現。また、RGB LEDからの光を斜めに拡散することで色ムラを抑えました。



従来のCCFL方式

RGB LEDの色再現(イメージ)



RGB LEDの色域比較図(u'v'色度図)

TRILUMINOS
Dynamic LED

画面はハメコミ合成です



まるで、そこへ訪れたような感動をつくりだすこと。

白神山地は、青森県と秋田県にまたがる面積約130,000ヘクタールの山岳地帯の総称。その中心部17,000ヘクタールが世界遺産に登録されました。

そこに広がるのは、鬱蒼とした世界最大級のブナの原生林。その静寂感、引き込まれるような奥深さは、森の神秘性を感じさせます。

XR1シリーズなら、まるでその場所に足を踏み入れたような、奥行き感や空気感をリアルに体感できます。



ブラビアエンジン2プロ



息をのむほどのリアルな立体感や精細感を生みだす、進化した高画質回路「ブラビアエンジン2プロ」

どこまでも続く森の奥深さ。これを映像で表現するには、樹木一本一本のディテールや、木葉一枚の質感までも再現されなければなりません。

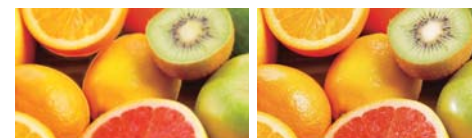
XR1シリーズは、SD信号からハイビジョン信号にいたるまで、それぞれの画像の特性に合わせて解像度創造を行うソニー独自のDRC

(デジタル・リアリティー・クリエーション)の映像処理能力をさらに向上させた「DRC-MF v3」

を搭載。映像のさらなる高精細さを実現し、被写体のもつ質感や艶、奥行き感をリアルに

再現します。さらに、映像信号に混在するノイズを最適なデジタル処理によって摘出し大幅

に低減。リアリティーあふれる映像を堪能できます。[左写真：ブラビアエンジン2プロ基盤部分]



一般的なハイビジョン映像

DRC-MF v3によるハイビジョン映像

B2
BRAVIA ENGINE
2

DRC-MFv3
Digital Reality Creator

画面はハメコミ合成です





〈ブラビア〉最高峰モデルにふさわしい存在感であること。

さまざまな操作ができるタッチセンサー



美しくライトアップされるSONYロゴ



フレーム部の「サファイアブラック」塗装



透明なパネル上に画面とスピーカーをレイアウト。美しい浮遊感を求めた進化したフローティングデザイン

XR1シリーズの高品位な映像をさらに引き立てること。映像を見ていない時もでもインテリアとして美しいたたずまいを見せること。これをコンセプトにデザインはスタートしました。透明なパネルの上に画面、スピーカーを配置。それぞれが浮遊しているかのようなイメージを演出。余計なものを徹底的に削ぎ落とし、大画面でありながら軽やかなフォルムに仕上げました。フレームの塗装には、材料色に青色のフレーク状ガラスを混ぜた「サファイアブラック」を採用。テレビを消した時は部屋の照明の当たり方で、色の表情がさまざまに変化。インテリアとしての優美なたたずまいを醸しだします。本体下部にはチャンネル切りかえや音量調整などの操作ができるタッチセンサーを配置。さらに、電源を入れると、やわらかな光を帯びてロゴが浮かび上がるなど。〈ブラビア〉最高峰モデルにふさわしい先進性と存在感を追求しました。

ソニー(株)クリエイティブセンター チーフアートディレクター 松岡 文弥

2008年の〈ブラビア〉ラインアップのデザインコンセプトは、XR1を中心に決まりました。一言でいえば、これまで培ってきたフローティングデザインをもっと追求したかった。透明部分をデコレーションだけでなく、機能としても使うこと。XR1では、スピーカーを浮かせて見せる役割をもたせ、テレビそのものが浮かんでいる、新しい浮遊感を出したかったんです。つまり、XR1シリーズは、〈ブラビア〉デザインの究極のカタチ、と呼べるものなのです。



心を揺さぶる映画の感動を、リビングで味わえること。



上写真の品はKDL-55XR1と壁掛けユニットSU-WL500、4ウェイスピーカーシステムSS-F6000、センタースピーカー SS-CN5000、アクティブサブウーファー SA-W3000です。
このシステムには、ほかにアンプが必要です(推奨:マルチチャンネルインテグレートアンプSTR-DG820)
写真のセンタースピーカーベースは、TAOC 製センタースピーカーベース300DLC(お問い合わせは、Tel.0565-54-1382まで)



左写真の品はKDL-46XR1とフロアスタンドSU-FL71L、
ホームシアターシステムHT-SF2000、
ブルーレイディスクレコーダー BDZ-X100です

XR1シリーズの圧倒的な映像美と臨場感豊かなサウンド。リビングにあなただけの「映画館」をつくりだせる

ホームシアター：暗部のディテールまで描きだす黒の表現力。果てしない映像の奥深さ。そして、触感までも感じさせる色彩。XR1シリーズは映画再生で、その映像表現力の高さを実感できます。そして、そこに臨場感あふれるサウンドが加われば、感動はさらに深くなる。ソニーのさまざまなホームシアターシステムと組み合わせて、お気に入りの映画と過ごす、プライベートな「映画館」をつくりだせます。

シアタースタンドシステム／ブラビアリンク：AVラックにAVアンプと5.1chスピーカーを内蔵し、手軽に臨場感豊かなサラウンドを実現するシアタースタンドシステム。XR1シリーズとすっきりと組み合わせることができます。さらに、ブラビアリンクにより、テレビのリモコンひとつで、シアタースタンドやホームシアターシステム、ブルーレイディスクレコーダーなどを、まとめて操作できます。



右写真の品はKDL-46XR1とシアタースタンドシステムRHT-G1200、
ブルーレイディスクレコーダー BDZ-X100です

55V 型

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

KDL-55XR1

オープン価格 【新発売】

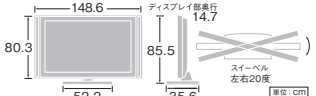
おき楽リモコン

シンプルリモコン



Full HD 1080





■JIS C 61000-3-2適合品

46V 型

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

KDL-46XR1

オープン価格 【新発売】

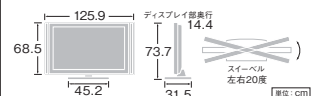
おき楽リモコン

シンプルリモコン



Full HD 1080





■JIS C 61000-3-2適合品

XR1シリーズ専用アクセサリ

テレビを壁に掛けて、すっきりと設置できる「専用壁掛けユニット」



壁掛けユニット
SU-WL500

壁掛けテレビのイメージで、手軽に設置できる「壁寄せスタンド」



フロアスタンド
SU-FL71L

迫力ある音と豊かな臨場感を楽しめる「シアタースタンドシステム」



シアタースタンドシステム
RHT-G1200

「ブラビアリンク」に対応。スタイリッシュなトールボーイ型システム



ホームシアタースystem
HT-SF2000

〈ブラビア〉でVOD（ビデオ・オン・デマンド）を24時間いつでも楽しめる



ネットワークTVボックス
BRX-NT1

〈ブラビア〉にプラスして、かんたん操作でハイビジョン録画ができる



デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー
BRX-A250

磨き抜かれた画質、音質でハイビジョン番組をたっぷり録画できる



ブルーレイディスクレコーダー
BDZ-X100

「スカパー/HD」と「スカパー！」標準画質2つの放送が楽しめる



デジタルCS放送受信セット
SAS-HD1SET

ブルーレイの高画質、高音質のために技術を結集したプレステージモデル



ブルーレイディスク / DVDプレーヤー
BDP-S5000ES

地上デジタル放送をダブルで録画できる。テレビサイドPC



パーソナルコンピュータ
VAIO VGX-TP1QS

Specifications

【チューナー】地上デジタル×2(ダブルチューナー機能)、BS・110度CSデジタル×2(ダブルチューナー機能)、地上アナログ、CATV地上アナログ→C13～C63ch、CATVバススルー*1
【高画質機能】RGB LED(トリルミナス)、LED部分制御システム、モーションフロープロ、ブラビアエンジン2プロ、視野角上下左右各(JEITA)*2→178度、コントラスト比→3,000:1*3 / 1,000,000:1*4、 画素数(水平×垂直)：1,920×1,080フルHD、アドバンスド・コントラスト エンハンサー
【高音質機能】デジタルアンプ、サラウンド回路→S-Force フロントサラウンド、音声多重回路、実用最大出力(JEITA)→10W+10W+12W(ウーファー)+12W(ウーファー)、 スピーカー→4個(フルレンジ)+2個(ウーファー)+2個(ツイーター、55V型のみ)
【便利機能】XMB、ブラビアリンク(リンクメニュー対応)機能搭載おき楽リモコン、ソニールームリンク、ブラビアリンク(リンクメニュー対応)、アプリキャスト、 ブラウザ機能(アクティバ対応)→ビデオ、ベーシック、ブラビア プレミアムフォト、静止画専用画質モード、ボイスズーム、Deep Color、好みナビ、シンクロ録画対応、 番組表(地上デジタル、BS・110度CSデジタル)、お知らせタイトル、高速起動、2画面表示(フレキシブル2画面)、画面メモ、オートインプットスキップ、省電力対応、 時計／タイマー→時計表示／オンタイマー・スリープタイマー
【入／出力端子】D5端子×2、S2ビデオ入力端子×1、ビデオ入力端子×3、デジタル放送／ビデオ出力端子×1、ヘッドホン出力端子×1、HDMI入力端子×4(側面1、背面3)、 PC入力端子→D-sub15ピン(音声 ステレオミニ)、光デジタル音声出力端子(AAC / PCM / AC3)、USB端子×1(側面)、電話回線(モデム内蔵)×1、 LAN端子(100BASE-TX / 10BASE-T)×1、AVマウス端子×1
【寸法・質量など】有効画面サイズ→55V型 幅121.0・高さ68.0・対角138.8cm / 46V型 幅101.8・高さ57.3・対角116.8、 外形寸法(スタンド含む)→55V型 幅148.6×高さ80.3×奥行14.7(幅148.6×高さ85.5×奥行35.6) / 46V型 幅125.9×高さ68.5×奥行14.4(幅125.9×高さ73.7×奥行31.5)、 質量(スタンド含む)→55V型 47.5kg(54.0kg) / 46V型 33.5kg(38.5kg)、消費電力(待機時)→55V型 480W(0.27W) / 46V型 350W(0.25W)
【主な付属品】ブラビアリンク(リンクメニュー対応)搭載おき楽リモコン、シンプルリモコン、単3形乾電池(2個)、単4形乾電池(2個)、VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル(2.5m)、 電源コード(2m)、転倒防止用固定ベルト一式
*1:CATV会社が地上デジタル放送を再放送する際の、同一周波数バススルー方式と、周波数変換バススルー方式のすべての周波数に対応 *2:JEITA規格準拠(コントラスト比10:1) *3:オンスクリーンコントラスト *4:ダイナミックコントラスト(全白信号での画面最大輝度と全黒信号での画面最小輝度比)

環境配慮情報 ■製品本体の一部へ再生プラスチックを使用 ■リサイクルしやすい各ブロックレベルまで標準工具で解体が可能 ■緩衝材に、再生紙もしくは環境に配慮した紙、または再生発泡スチロールを使用
■取扱説明書に再生紙または環境に配慮した紙を使用

※本商品を壁に掛ける場合は、壁掛けユニット(別売)を必ずご使用ください。また、設置工事および取り付けは、事前に販売店および工事専門業者にご相談ください(家屋の構造によっては、取り付けられない場合があります)
※“XMB”、“xross media bar”および“”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください

テレビ、プロジェクター設置上の注意 ●テレビの設置については、専用スタンド(別売)や壁掛けユニット(別売)を必ずご使用ください。また、設置工事および取り付けは、事前に販売店および工事専門業者にご相談ください。液晶テレビの壁掛けユニット(別売)についても同様に相談ください(家屋の構造によっては、取り付けられない場合があります) ●専用のフロアスタンド(別売)や壁掛けユニット(別売)を使用する場合を除き、テレビは壁から10cm以上離して設置してください。壁などに近づき過ぎて、空気の流れが悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなる場合があります。また、通気孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります ●テレビを市販のラックなどに置く場合は、テレビの底面よりも広く、水平であることをご確認ください。また、耐荷重量や対応サイズもあわせてご確認ください ●プロジェクターを市販のラックなどに置く場合は、質量がラックの耐荷重量を超えていないことをご確認ください
テレビを安全に使用するために ●裏ボタンをはずしたり、セツトの内部の改造をしないでください ●アンテナの取り付けには危険がともないますので、十分に注意して行ってください。特に、風の強い日や雨や雹のような天候の悪い日の設置は非常に危険ですので、設置作業は行わないでください
商品購入時の注意 ●「保証書」の記載事項を必ず確認のうえ大切に保管してください ●デジタルCS放送チューナーに同梱のICカードにはID番号(16桁)がついています。お買い上げの際はご確認ください ●当社は、このカラーテレビ、衛星放送関連機器の補修用性能部品を製造打ち切り後8年保有しています

〈ブラビア〉ホームページ XR1シリーズ スペシャルコンテンツ

sony.jp/bravia/XR1-special/

⚠ 安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所や、熱器具などの近くに設置しないでください。

火災、感電、故障などにより、死亡や大けがをすることがあります。

テレビは必ず転倒防止の処置を行ってください。テレビが倒れてけがなどの原因となることがあります。

●長年ご使用のテレビの点検を!

愛情点検



このような症状は
ありませんか



使用を中止

- スイッチを入れても映像や音がでない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。

コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

ソニーウェブサイト

パソコン sony.jp/

携帯



ソニー株式会社

ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

商品に関するお問い合わせは

買い物相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-777-886

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2546

●FAX 0120-333-389

●受付時間 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日9:00～17:00

カタログ内容について、詳しく知りたい方は、近くのソニー商品販売店、
または買い物相談窓口にお問い合わせください

お問い合わせは当店へ

本カタログは再生紙および環境に配慮した大豆インキを使用

Sony Card



www.sonyfinance.co.jp

2008.12

カタログ記載内容2008年11月現在